

## HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY

JUNE 16-30, 2005

日本の機能性食品の歴史は長く、その技術は世界でも最高レベルである。海外からの特定保健用食品制度に対する関心も高い。そのような中で、最近、日本企業による独自素材を用いた技術・原料、最終商品の積極的な海外進出の動きが見られる。花王は、米国大手穀物メーカーである ADM 社と合弁会社を設立し、2003 年 1 月より、シカゴ及びアトランタの 2 都市で、「エコナクッキングオイル」を「ENOVA (エノバオイル)」というブランド名にして、テストマーケティングを開始した。テストマーケティングの結果は良好で、今年 1 月より全米へ販売地域を拡大した。一方、血圧対応の特定保健用食品「アミール S」を扱うカルピスは、英国のユニリーバ社と「アミール S」の原料である「アミールペプチド」のライセンス供与と原料供給の契約締結を発表した。今年 7 月にポーランドで新商品発売後、順次販売地域を拡大していく計画だ。これに続いて、多数の日本発の機能性製品がグローバル製品として成功していくことが期待される。

### **NEW PRODUCTS**

#### **アンファー、発毛治療に携わる医師と共同開発した飲む頭髪ケアサプリメント2品を発売**

アンファー株式会社は、頭髪専門病院で発毛治療の臨床に携わる医師のノウハウをもとに開発したサプリメント「SUPLI-D 5 $\alpha$ -R」と「SUPLI-D YEAST」を2005年6月19日に発売する。「サプリD 5 $\alpha$ -R」は抜け毛予防サプリメントで、抜け毛の原因となるジヒドロテストステロン(男性ホルモン)を産生させてしまう還元酵素「5 $\alpha$ -リダクターゼ」の活性を抑制する4種類の生薬エキス(クルクミンエキス、チョウジエキス、ノコギリヤシ、カボチャの種子エキス)を配合している。「サプリD YEAST」(イースト)は髪の毛の成長にとって必要とされる成分を補給するサプリメントで、必須アミノ酸やビタミンB群、ミネラルをバランスよく補給できる栄養機能食品。実際に頭髪治療現場で使用してきたサプリDの臨床実績を踏まえ、一般ユーザーへ向けて発売を開始する。専用ウェブサイトと東急ハンズ6店舗で先行販売し、随時販路拡大していく予定。(6月17日 アンファープレスリリース)



#### **メナード化粧品、血管老化を防ぐ $\alpha$ -リポ酸サプリメントを発売**

日本メナード化粧品は、 $\alpha$ -リポ酸とビタミン E、ビタミン C を配合した「VE アルファリポ酸」を 6 月 21 日に発売する。同社は、 $\alpha$ -リポ酸とビタミン E をそれぞれ単体で摂取するより、両者を一緒に摂取する方が血管の弾力性が高まることをヒト試験などで確認した。(メナード化粧品ホームページ、日経サブリ&機能性食品 5 月 20 日)



### イシダファーマ、アミノアップ化学、三重大学が共同開発した関節リウマチ対応サプリメントが発売

イシダファーマ、三重大学院の内田淳正教授、アミノアップ化学などが共同開発した関節リウマチ対応のサプリメント「RAease(ライーズ)」が6月1日より医療機関の売店、全国の薬局、健康食品専門店などで販売開始された。主成分は、アミノアップ化学が開発した大豆抽出物、キノコの菌糸体を混合培養した細胞の異常増殖を抑えるGCP(ゲニステイン)。さらに、関節の軟骨を修復するグルコサミン、ビタミンCなどを配合している。三重大学で実施した臨床試験では、ライーズを3ヶ月飲んだ43名のうち約40%に関節の動きや痛みに改善が認められた。1ケース約1カ月分(270粒入り)で2万9400円。(6月29日 産経新聞大阪夕刊)



### アムウェイ 低カロリー食事代替商品に抹茶味を追加

日本アムウェイは、同社の栄養補助食品ブランド「NUTRILITE」の新商品として、抹茶の風味をそのまま活かした、ほどよい苦味と甘さの「バランス プロテイン ミックス(抹茶)」を7月1日より発売する。

## TECHNOLOGY UPDATES

### 日大医学部、CoQ10の冠動脈血流速度の改善を発表

日本大学医学部循環機能検査室の笠巻祐二氏は、CoQ10投与の前後で、心臓の冠動脈の血流速度を比較したところ、投与後、有意に血流速度が上昇していることを確認した。CoQ10を、狭心症や心筋梗塞といった冠動脈疾患の治療にも利用できる可能性が出てきた。本研究成果は、6月10日に京都で開催された第5回日本抗加齢医学会総会で発表された。(6月17日 日経サブリ&機能性食品)

### 低カロリー食事代替食でインスリン離脱に成功

蛋白質、ビタミン・ミネラルなどをバランス良く配合した低カロリー食事代替品の利用により、糖尿病の薬剤投与量の減少やインスリン注射からの離脱に成功した症例が、6月10日に開催された第5回日本抗加齢医学会総会で、埼玉医科大学学生化学の篠田雄一氏によって報告された。インスリン離脱に成功したのは体重72.5kgでBMIが30.6kg/m<sup>2</sup>、糖尿病歴は20年の72歳の男性。4つの医薬品を服用し、インスリンを朝夕2回投与していた。朝食と昼食はカロリー制限前と同じように摂取するよう指示し、夕食のみをカロリー制限した。具体的には、2カ月間は夕食に代えてマイクロダイエット1袋(170kcal)を、その後4カ月間はオプティファースト2袋(168kcal)を摂取した。カロリー制限開始から6カ月後には、体重66.5kg、BMI28.0kg/m<sup>2</sup>に減少し、経口薬を2剤に減らした上、インスリン注射からの離脱にも成功した。また、肥満と早期腎症を伴う糖尿病患者25人に4カ月間、同様のカロリー制限(1カ月間はマイクロダイエット1袋、2カ月目からはオプティファースト2袋を夕食に代えて摂取)を行ったところ、全員が減量でき、体重5%以上の減量に成功した人の割合も8割に上った。(6月17日 日経サブリ&機能性食品)

### 味の素、アミノ酸「グリシン」の「睡眠の質」改善効果を実証

味の素株式会社は、アミノ酸の1つであるグリシンが、日常の睡眠に問題を感じている人の、「すっきり起床できない」「日中眠い」「作業効率が上がらない」といった状態を改善することを見出した。また東京慈恵会医科

大学とともに脳波試験を行い、就寝前にグリシンを摂取したときには自然な深い眠りへすみやかに移行することを確認、グリシンが「睡眠の質」を改善する事を明らかにした。近日中にグリシンの機能を活用した商品を発売する予定。(6月28日 味の素プレスリリース)

### カルビス、発酵乳の継続飲用による睡眠・生活の質の改善効果を確認

カルビス株式会社基礎研究フロンティアラボラトリーでは、乳酸菌*L. helveticus*(ラクトバチルス・ヘルベティカス)CM4株の発酵乳を継続飲用することによる健康な高齢者の睡眠・生活状態への効果について研究した結果、睡眠の質(QOS)および生活の質(QOL)の改善効果を確認した。睡眠関連の指標では、『睡眠中の目覚めの回数』の減少と『睡眠中の諸症状』の改善が認められ、生活関連の指標では、『全体的健康感』が高くなったことから、「ラクトバチルス・ヘルベティカスCM4株発酵乳」の継続飲用により、健常人の睡眠・生活の質をより改善する可能性が示唆された。この研究成果は、6月30日の日本睡眠学会で発表された。(6月30日 カルビスプレスリリース)

## COMPANY NEWS

### 日清オイリオグループ、健康食品通販を強化

日清オイリオグループは、発芽大豆を原料とした豆乳を軸に、既存の特保商品の通販展開を強化していく。通販商品の拡充を進めながら、2年後に通販売上10億円を目指す。通販事業の動きをみながら、本業の製油業と結びつける植物素材を使った健康食品の新製品開発も進める。(6月16日 日本流通産業新聞)

### エバーライフ、商品開発を強化し「第三の柱」確立へ

エバーライフは、前立腺肥大や頻尿などに対応する健康食品「晴龍」を今春からネットで展開、秋をめぐりにインフォーマーシャルを開始する。エバーライフは、サメ肝油の「鮫皇」がヒットし成長した。昨年はヒアルロン酸を配合した「皇潤」がテレビ通販で大ヒットし、60万本超を出荷した。「皇潤」ブームはまだ続いているが、早期に新しい柱となる商材を確立し、成長基盤を固める考えである。(6月16日 通販新聞)

### アサヒ緑健、売上3%増の158億円、競合増加で目標未達

青汁通販最大手のアサヒ緑健の2005年3月期決算は、売上高が前年比3.4%増の158億5000万円で、当初の目標を約10億円下回った。青汁市場は拡大し続けているとされるが、参入企業が増加し、露出度及び競争力が低下していることが、目標未達の主因とみられる。未だ本格展開していない関東圏での展開により、大幅な売上増を期待していたが、事前調査した結果、現時点での展開は困難と判断し、関東圏での本格展開は当面見送ることとなった。青汁を展開する競合企業が多いこと、媒体費が地方局と比べて高額なことが主な理由である。(6月23日 通販新聞)

### カルビス、英ユニリーバ社と機能性素材「アミールペプチド」のライセンスと原料供給契約を締結

カルビス株式会社はユニリーバ社と、欧州において、ユニリーバ社が製造・販売する血圧調節作用をもつ食品にカルビス社の機能性素材「AmealPeptide(アミールペプチド)」の特許を含む技術と商標をライセンス

し、原料供給する契約を締結した。ユニリーバ社は、血圧調節作用のある「AmealPeptide」を使用した血圧対応の乳飲料「Becel/Flora pro·activ(ビーセル/フローラ プロ・アクティブ)」を、本年7月からポルトガルで発売し、順次、販売地域を拡大していく。(欧州のエリアによって『Becel』ブランドまたは『Flora』ブランドで販売する。)同商品は、カルピス社が供給する「AmealPeptide」を原料とし、「AmealPeptide」のブランドロゴが表記される。カルピス社では、この契約締結による初年度の売上目標として、年換算で15億円を予定している。(6月23日 カルピスプレスリリース)



## MARKET TRENDS

### メーカー通販各社、夏向け新商品は定番で手堅く

昨年6月に「天使の健康」ブランドで通販を開始した森永製菓は、6月10日、サプリメント「CoQ10」と特保茶飲料「清祥茶房」の2商品を発売した。「清祥茶房」は、プアール茶、杜仲茶、グロビン蛋白分解物などを含み、食後の中性脂肪の上昇を抑える商品。一方、昨年8月に「健康体」ブランドで通販を開始した伊藤園は、「-リボ酸」「イソフラボン」「グルコサミン」の3商品を発表した。両社は、有名メーカーのブランド力を生かし、「独自性の高いアイテム化を目指す」と当初計画を説明してきたが、アイテム拡充が進むにつれ、一定の人氣が見込める定番素材を扱うようになってきている。(6月23日 日本流通産業新聞)

## REGULATORY UPDATES

### サンヘルス社長、薬事法違反の疑いで逮捕

健康食品であるアガリクス茸粉末「アガリクス K2」を「固形がんを含む全ての癌に有用性が認められている」などと効能・効果をうたって販売したとして、神奈川県警生活経済課は6月16日、通販会社サンヘルスの社長他1名を薬事法違反の疑いで逮捕した。新聞広告に薬事法違反にあたる記載はなかったが、無償サンプルや購入商品を発送する際、冒頭のコピー等により商品の効能・効果を説明する冊子を同梱していた。(6月23日 日本流通産業新聞)

### 在日米国商工会議所、健康食品の規制緩和で意見書

在日米国商工会議所(ACCJ)のダイエタリーサプリメント小委員会は6月9日、厚生労働省医薬食品局食品安全部宛に、栄養補助食品に関する新たな法制度の創設と規制緩和を求める意見書を提出した。意見書は毎年提出しているもの。このなかで、保健機能食品以外の栄養補助食品における定義付けと適切な位置づけを要請。摂取方法や機能特性、および米国や日本の国立研究所など第三者機関で科学的に安全とみなした成分についての規制緩和策を求めている。許可事項要請として、成分抽出・濃縮過程における有機溶媒使用や、米国のDSHEA法などを事例とした保健機能食品以外における機能特性表示などをあげている。(6月16日 訪販ニュース)